

あきく



NO.107
2019.3.5

社会福祉法人 広島市安芸区社会福祉協議会
安芸区船越南3丁目2-16(安芸区総合福祉センター3階)
TEL(082)821-2501 FAX(082)821-2504
ホームページ <https://shakyo-hiroshima.jp/aki>
メール: aki@shakyohiroshima-city.or.jp

みんなの福祉



広島市安芸区
社会福祉協議会HP

「みんなの思い」が全国から安芸区へ...



～安芸区災害ボランティアセンターの記録～

平成30年7月に発生した西日本豪雨災害では、私たちの暮らす安芸区において甚大な被害が発生しました。災害によりお亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

今回の災害では、安芸区での大規模な被害を知った全国から、ボランティアの方々が安芸区に来て下さり、7月の猛暑のなか長期にわたって土砂かきを中心にボランティア活動に駆けつけていただきました。

全国から安芸区の復興のために、支援していただいたボランティアの皆様、本当にありがとうございました！(ボランティア延べ活動人数 約13,000名)

また、センター立ち上げ当初は、ボランティア活動に必要な飲み物や、資材等が不足している状況でしたが、全国から沢山のご寄附をいただきましたお陰で、円滑なセンター運営を行うことができました。資材等のご提供をいただきました皆様、心よりお礼申し上げます。

今回の「あきくみんなの福祉」では、災害ボランティアセンター運営時に、全国から届いた「みんなの思い」に、感謝の気持ちを込めてご紹介します。

この広報誌の発行は、共同募金の配分金も充てられています。

災害ボランティアセンターってなあに？



現在は大規模な災害が発生すると、市町の社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを立ち上げ、運営することが定着しつつあります。

平常時から地元地域と密接につながりのある社会福祉協議会が、災害ボランティアセンターを運営することにより、地域の自主団体である地区社会福祉協議会や町内会、民生委員・児童委員その他、地域のキーパーソンの方々との連携が容易で、平常時からの見守りネットワークを活かし、より被災地域に寄り添った支援ができるというメリットがあります。

災害ボランティアセンターの役割は主に、被災地域におけるボランティアニーズの把握とボランティア活動者のマッチング(調整)です。その事によって、ボランティアが依頼者を手助けしています。

『ボランティア活動保険』の勧め

いつどこで大規模な災害が起こるかわかりません。もしも、これから災害ボランティア活動をするのであれば、ケガの保証もある『ボランティア活動保険』に加入されることをお勧めします。災害ボランティアセンターを通じて活動される場合は、『ボランティア活動保険』に加入できますので、その際は被災地の災害ボランティアセンターにお越しください。

7月14日から9月末までの
災害ボランティアセンターの
毎日の動きです！

本部(安芸区総合福祉センター)



※ボランティア活動時間が10:00~13:00の場合です。※その後、サテライトが閉所し、送り出しは本部から直接現地依頼者宅へ変わりました。

赤い羽根共同募金が災害ボランティア活動を支える！



今回の西日本豪雨災害において、災害ボランティアセンターの運営のために、共同募金から多くの金銭的支援を受けました。(共同募金からの支援金額3,188,000円(安芸区社協への配分額))

災害ボランティアセンターの運営には、実は想像以上にお金がかかります。

支出金額 支出合計:5,268,468円
(内訳) 寄附金より……1,080,468円
共同募金より……3,188,000円
積立予算より……1,000,000円

センター運営にかかる支出費目の例

- ボランティア活動にかかる消耗品等(資材、飲み物等)の購入
 - センター(サテライトを含む)設置費用、運営費用
 - ボランティア用駐車場維持費
- 等

このように、共同募金は被災地を応援するためにも使われています。災害はいつ起こるかわかりません。もしも再び災害が起こってしまったとき、スムーズな災害ボランティア支援を行っていくためにも、皆様に共同募金への協力を何卒お願いします。

長期に渡りセンター運営にご協力いただきました

ニーズ受付班リーダー



小林さん
から一言

認定 NPO 法人
グッドネーバース・ジャパン

小林 純さん

小林さんには、ニーズ受付班のリーダーとして、ニーズ受付対応から、支援依頼のあった現地の状況確認まで、私たち災害ボランティアセンターの運営をしっかりサポートしていただきました。

今回、被災地で迅速かつ安全にボランティア活動が行えるよう、ニーズ受付班の支援に関わりました。

長期間の支援に関わることで、電話上の対応だけではなく、顔のみえる支援ができました。

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。顔のみえる関わりこそ、平時からできる一番の災害への備えかもしれません。

看護ボランティアスタッフ



濱本さん
から一言

YMCA
訪問看護ステーション・ピース

濱本 千春さん

安芸区災害ボランティアセンターの特色として、看護スタッフの充実があります。濱本さんの所属するYMCAから、全国の看護団体に呼びかけ、全国から有志の看護師の方々に長期に渡りご協力いただきました。濱本さんは看護スタッフのリーダーとして看護師のコーディネートを行っていただきました。

熱中症・破傷風・外傷・蜂刺されなどの予防と対応に始まり、「絶対に二次災害や活動中の死亡事故を起こさない」という覚悟で救護を担当しました。

全国津々浦々の看護職延べ620名が活動し、そして、学ばせていただきました。感謝です。

現地オペレーション



オサムさん
から一言

RQ広島 村田 収さん (オサム)

RQ 広島の皆様にはボランティア活動の現地オペレーションを中心に、活動いただきました。安芸区災害ボランティアセンタースタッフとは別に、特殊な案件を中心に対応していただき、災害ボランティアセンターと歩調を合わせてボランティア活動を支えていただきました。

RQ 広島は一般財団法人 RQ 災害教育センターが2014年8月20日の広島土砂災害時に開設した現地拠点です。

私は7月18日に矢野入りし、流木及び土砂並びに床下泥撤去等に携わりましたが、安芸区社協職員、ボランティア、地域の皆様方と一緒に活動していくうちに必ず復興するという強い信念を持つことが出来ました。

本部運営協力スタッフ



森島さん
から一言

広島県生活協同組合連合会
専務スタッフ 担当課長

森島 哲司さん

森島さんには運営スタッフ・看護師の支援を、全国の生協へ呼びかけていただき、災害状況を伝え、不安なく活動できるようにオリエンテーションをしていただきました。また、日々変わる支援ニーズを社協職員と調整し、運営スタッフ・看護師のコーディネートをしていただきました。

安芸区災害ボランティアセンターに集まったスタッフ、看護師、ボランティアは、サンフレッチェ広島 2018スローガン「ICHIGAN」のごとく、「ICHIGAN」となり、被災者の皆さんが一日でも早く元の生活に戻れるように取り組みました。その司令塔が、安芸区社協の皆さんでした。これからも、共に頑張っていきましょう。

長期間ボランティアに来ていただいたボランティアさんへ聞いてみました(*^^*)

1/25(金)

既読
15:36

なぜボランティアをしようと思ったのですか (?_?)



今までボランティアについて頭になかったけど、仕事を辞めて自分にできることは何かと考えてボランティアをしてみようと思ったんじゃ。



4年前は広島におらんかって、何も手伝えんかったのがとても心残りじゃったけえ、今回は参加しよう思うたんよ。

既読
15:55

ボランティアをする上で心掛けていることは何ですか (?_?)



他のボランティアと歩調を合わせ、迷惑にならんように気をつけとる。依頼者とは気軽に世間話をするようにしとることかね。



ボランティア同士でコミュニケーションをできるだけ取るようにしとるよ。

既読
16:11

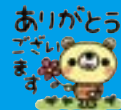
ボランティア活動の中で印象に残っていることは何ですか (?_?)



公園で作業をしたとき、おばあちゃんが「ありがとう」って涙を流して言ってこられたことじゃね。



作業が残っていても、活動時間が終了じゃけえ、途中で帰らんといけんことが心残りじゃったんよ。また同じ現場に入れるわけじゃないけえーね。



既読
16:23

震災から6か月たった今でもボランティア活動に参加いただいていることについて、何が心を動かしているのですか (?_?)



災害でなくても、自分で役に立てることがあれば参加したいと思うたけえかね。



ミニミニスーパーマンになれた気持ちになったかな。人が喜んでもらえるような人になれたかと思うたけえ、ボランティアって自分のためでもあったんじゃと思う。



16:40

みなさん長い間ありがとうございました。(*'▽') これからの活躍も応援しています!!

災害ボランティア支援金へのご寄附ありがとうございました。



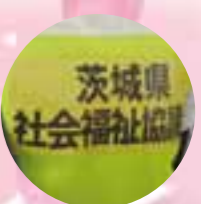
この度は、災害ボランティア支援金として県内外から多くご寄附をいただきました。ご寄附いただきました支援金は、災害ボランティア活動、災害ボランティアセンター運営に有効に活用させていただきます。《平成30年7月17日～平成31年2月6日》

真如苑SeRV 様
中村 義行 様
河内 恵子 様
寿 様
池本 一男 様
池本 秀昭 様
高田 英子 様
小島 充茂 様
安芸区認知症の人と家族の会 様
山崎 憲治 様
久保 良子 様

ダイトテック(株)代表 野中 昇 様
上松 敏郎 様
岸 千奈美 様
藤田 康子 様
あしはらや 様
澤田 さちゑ 様
パソナ松江支店 様
広島畑賀簡易郵便局 様
あいさか歯科クリニック 様
安達 弘和 様
広島鉄板☆バリュー-兄弟こめちゃん 様

JR 東労働組合 様
おめこ祭り実行委員会 様
佐倉市社会福祉協議会
職員一同 様
市民公益活動団体積善会 様
広島友の会安芸方面 様
広島友の会安芸方面 友愛係 様
広島友の会 公共部 様
藤井 典枝 様
株式会社ウィズアート 様
広島パイロットクラブ 様

海田間税会 様
active fridaze 様
高山 裕 様
東大和市社会福祉協議会
一般社団法人 広島市食品衛生協会
会長 大谷 博国 様
広島市安芸食品衛生協会
会長 植田 啓介 様
加藤 美佐子 様
清水 知弘 様
その他 匿名 様 6名



みんなありがとう

